

令和  
6年度

# 石狩教育局 指導3班通信

ISHIKARI  
District Office of Education  
北海道教育庁石狩教育局  
令和7年2月●日発行 第11号

今号では、高等学校教育指導班から「令和6年度（2024年度）北海道高等学校教育課程研究協議会」、義務教育指導班から「生徒の英語力向上推進事業」、社会教育指導班から「北海道教育委員会社会教育主事」について紹介します。

## 高等学校教育指導班

### 令和6年度(2024年度)北海道高等学校教育課程研究協議会

令和6年(2024年)12月13日(金)に北海道高等学校教育課程研究協議会が高等学校教育の改善・充実を図ることを目的に開催されました。

#### 1 手引「総則」に関する説明

高校教育課ウェブページに掲載

URL:<http://www.koukou.hokkaido-c.ed.jp/tebiki/kyouikukatei-mokuji.htm>

#### 2 講演・トークセッション

文部科学省初等中等教育局主任視学官 田村 学 氏を講師として、『主体的・対話的で深い学び』を改めて考える～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実～と題し、講演をいただくとともに、各学校の実態を踏まえた上で、講師と道立高校教諭3名と「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実について、トークセッションを行いました。

#### 3 提言

「ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる授業改善について」（提言校：北海道帯広柏葉高等学校）

- ・各教科等においてICTを効果的に活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を深化させる取組について提言がありました。

#### 4 研究協議

- 協議題：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて～生徒を主語にした授業への転換～
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて現状の把握、さらなる改善策の具体を見いだすことをねらいとして協議を行いました。
- ・協議シートのとおり、校内研修の目標や研修プログラムの作成を通じ、協議を深めました。

#### 5 参加者の声

田村視学官のご講演にとても感銘を受けました。

各教科の学びがどう生きているのか、それをどう生徒に実感させるか、そういった視点での授業改善の動きをどのように学校全体に波及させていくか考えました。

「令和6年度石狩管内教育推進の重点」の「重点1」を確認いただき、スクールポリシーに基づく授業改善を推進しましょう。

(高等学校教育指導班主査 鈴木 肇)

令和6年度教育課程研究協議会 協議シート		
校内研修 研修プログラム		
テーマ	「個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて授業改善を推進するための校内研修～生徒を主語にした授業への転換～」	
【目的】	生徒たちがさまざまな学びと課題を自ら主体的に見つけ、教員及び地域と連携している大人が生徒たちのファシリテーターとなることで、学校目標を達成するようにするため。	
【年間の研修計画】	キーワード (例)：授業公開週間、授業研究、教科等連携の視点、指導案検討会、生徒アンケート、教師アンケート、単元の指導と評価の計画、評価標準	
時期	実施内容、実施方法	留意点
4月	LHR・総合的な探究の時間の年間計画決定	会議にて周知
5月まで	探究の年間計画説明（1年次教員向け）	新任者への説明
9月下旬	探究の時間中間発表会（教室内等：教員見学）	教員間の課題整理
11月	教員アンケート（中間反省会議資料） 公開授業週間	教員間の課題整理 教科情報交換
1月	3年次探究の時間発表会（1・2年次生見学）	生徒・教員の見学
2月まで	教員アンケート（年度末反省会議資料）	今年度課題整理
3月	生徒アンケート（1・2年次生対象）	次年度へ引き継ぎ 生徒の実態把握



R6 石狩管内  
教育推進の重点

# 義務教育指導班

# 生徒の英語力向上推進事業

令和6年度生徒の英語力向上推進事業では、小・中・高等学校と一貫してコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、教員の英語力・指導力の向上に向けた取組を推進しています。

## 令和6年度 E-Line セミナー及び小学校外国語専科教員研修会

推進教員等を対象に、年3回、オンラインによる研修を開催し、講師による講話や実践発表、協議等を行い、成果を全道に普及する。

### 第1回E-Lineセミナー兼小学校外国語専科教員研修会 【5月29日(水)】

本道の課題に係る取組や、全国学力・学習状況調査結果を活用した授業改善の方向性について理解を深める。

#### 各学校・地域での実践

【講師】文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部学力調査官(兼任)教育課程調査官 費田 悠 氏

### 第2回E-Lineセミナー 【9月26日(木)】

各研修テーマや全国学力・学習状況調査の結果に基づく取組について交流し取組の充実を図る。

#### 各学校・地域での実践

【講師】文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部学力調査官(兼任)教育課程調査官 費田 悠 氏

### 第3回E-Lineセミナー兼小学校外国語専科教員研修会 【12月10日(火)】

推進教員がテーマに基づく実践内容を発表し、全道に向けて成果普及を図る。

【講師】文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部学力調査官(兼任)教育課程調査官 費田 悠 氏  
北海道教育大学札幌校教授 高倉 隆一 氏

管内では、小学校1校、中学校2校(千歳市立勇舞中学校、恵庭市立恵明中学校、恵庭市立和光小学校)が研究推進校となり、言語活動を通じた指導の充実に向けた研究開発を行い、指導計画や授業モデルを作成しました。

また、年3回実施されるE-Lineセミナーでは、オンラインで他校の生徒とコミュニケーションを図り、対話しながら協働的に課題解決する実践など、言語活動の充実を図った取組を発表しました。

【道教委Webサイト】  
道内の外国語教育の取組  
についてはこちらから



今後、研究推進校(小・中学校)における言語活動を通じた指導の授業モデルを道教委Webサイトで発信していきます。本資料を活用し、教員の英語力・指導力の向上に向けた取組を進めましょう。(義務教育指導班指導主事 新井 宏)

# 社会教育指導班

## 北海道教育委員会社会教育主事について

「社会教育主事」は社会教育を行う者に専門的・技術的な助言と指導を行う専門的教育職員で、社会教育法に基づいて教育委員会事務局に置くこととされています。

北海道教育委員会にも教員より採用された約60名の社会教育主事が配置されており、「本庁」及び「各教育局」、「各青少年体験活動支援施設(ネイパル)」に勤務しています。

## 北海道教育委員会の社会教育主事になるためには

社会教育主事  
任用資格の取得

任用要件

「専門的教育職員採用  
候補者選考」を受検



- 社会教育主事講習を受講・修了  
または
- 社会教育主事養成課程のある大学で必要な科目を履修

- 社会教育主事任用資格の所持
- 国・公立学校の教員として、5年以上の経験

- 実施時期  
5月～1月  
(申込期限は、12月中旬の予定)
- 内容  
書類選考、個別面接

～社会教育主事講習について～

- ・生涯学習概論 4日間
- ・社会教育経営論 4日間
- ・生涯学習支援論 4日間
- ・社会教育演習 5日間

4科目  
履修

【A日程】実施 7月～8月予定(募集5月)

【B日程】実施 10月～1月予定(募集9月)

※北海道の社会教育主事講習は全てオンラインで実施するため、遠隔地でも参加可能  
※一部の講義はオンデマンド配信

石狩管内や本道の社会教育推進のため、教員の経験を活かして社会教育主事になりませんか。社会教育主事講習、道教委社会教育主事の採用及び業務等について、社会教育指導班が説明に伺いますので、御相談ください。  
社会教育指導班社会教育主事 只野 浩太